

別記様式第8号(別記1の第6の1、別記2の第5関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和3年度報告)

広島県

1 被害防止計画の作成数、特徴等

本県における被害防止計画の作成は、23市町全てで作成している。計画の作成は、全てが市町単独の計画で、複数市町で共同作成した計画はない。
鳥獣による令和3年度の農作物被害については、被害金額が461百万円で、そのうち約66.1%(305百万円)がイノシシによる被害であることから、計画作成の全市町がイノシシを対象鳥獣に挙げている。
対象鳥獣としては、イノシシ(23市町)、シカ(20市町)、サル(17市町)、カラス(15市町)が上位となっている。
特定外来生物のヌートリアを18市町、アライグマを12市町、水産被害が深刻なカワウを17市町、人身被害が心配されるツキノワグマを5市町が対象鳥獣に挙げている。

2 事業効果の発現状況

県内23市町全てで鳥獣被害対策協議会が組織されている。捕獲体制(駆除班、捕獲班等)は全市町で整備され、そのうち21市町で鳥獣被害対策実施隊が設置されるなど、有害鳥獣捕獲体制の整備が進んでいる。
有害捕獲を進める箱わなの導入や捕獲活動の実施による個体数調整、侵入防止柵の設置等による被害防除、研修会実施等による生息環境管理に向けた取組が行われるなど、総合的な鳥獣害対策が講じられている。
狩猟免許取得のための講習会、わな架設講習会、鳥獣被害防止研修会の開催など、わなを中心に捕獲の担い手の確保・育成に向けた取組が進んでいる。

3 被害防止計画の目標達成状況

本県の野生鳥獣による農作物被害金額は、令和3年度は461百万円で、前年度に比べて52百万円減少した。減少の要因としては、被害額の大きいイノシシやシカの被害を押さえることができたことが挙げられる。
一方で、県南部の果樹(柑橘等)において対策の困難なカラスによる被害の増加が目立っている。
更なる被害の低減を図っていくためには、地域ぐるみで「環境改善」を中心に、「加害個体の捕獲」、「侵入防止」を必要に応じて組み合わせた三対策を実施することが不可欠であり、引き続き被害防止計画の目標達成に取り組む。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	都道府県の評価
										被害金額			被害面積				
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率		
別紙1のとおり																	

注:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

5 第三者の意見

コメント

別紙2のとおり

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	都道府県の評価										
										獣種	被害金額			被害面積													
											目標値	実績値	達成率	目標値	実績値			達成率									
竹原市有害鳥獣駆除対策協議会	竹原市	R1	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	5基	竹原市有害鳥獣駆除対策協議会	R1.9.1	100%	【捕獲わなの整備】 ○捕獲頭数実績 ・イノシシ H30:561頭 R1 :577頭 R2 :685頭 R3 :583頭 ・シカ H30:324頭 R1 :398頭 R2 :439頭 R3 :428頭 ・小動物 H30:83頭 R1 :55頭 R2 :54頭 R3 :73頭	合計	万円	万円	-	%	26%	4.4	4.5	95%	【評価】 被害金額については-26%、被害面積については95%の達成状況であった。 鳥獣ごとにみると、イノシシ・シカは、捕獲及び侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)等、一体的に対策を行い、捕獲頭数はどちらも増加傾向にあるが、被害についてはイノシシが減少、シカが増加となっている。 小動物は、捕獲頭数が減少しているが、被害は減少。 鳥類は、ブドウ産地においてカラスによる被害が急増し、被害金額・面積とも大きく増加となった。	被害金額は増加しているものの、イノシシや小動物については被害金額は減少しており目標を達成している。被害面積については減少しており、目標を達成している。 被害金額を減少させるため、集落ぐるみでの環境改善、侵入防止、捕獲の総合的な取組をさらに強化して取組んでいく必要がある。特に、被害金額が大きく増加している鳥類対策について重点的に取り組んでいく必要がある。							
			小動物	捕獲用箱ワナの購入	4基		R1.11.1	100%													1,223	1887	-26%	4.4	4.5	95%	
		R2	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	4基		R2.8.7	100%													335	300	124%	2.9	2.3	146%	
			小動物	捕獲用箱ワナの購入	5基		R2.12.8	100%													53	107	-145%	0.3	0.7	-300%	
		R3	イノシシ	ICT捕獲機器	2基		R2.9.30	100%													197	115	196%	0.4	0.2	200%	
			イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	6基		R3.7.30	100%													638	1365	-165%	0.8	1.3	-67%	
			イノシシ	ICT捕獲機器	3基		R3.9.2	100%																			
			イノシシ	重点捕獲(捕獲用箱ワナの購入)	1基		R3.11.30	100%																			
			イノシシ・シカ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=2m,L=326m		農事組合法人たまり	R2.1.17													100%						
			イノシシ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m,L=434m		農事組合法人サンファームおなし	R2.1.17													100%						
竹原市	竹原市田万里地区	R1	イノシシ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=2m,L=480m	農事組合法人たまり	R2.12.4	100%	【侵入防止柵の整備】 侵入防止柵の整備を行い、イノシシ・シカによる受益圃場の農作物被害を防いでいる。 市全体では、イノシシの被害が減少、シカの被害は増加となっている。	イノシシ	-	-	-	-	-	-	-	【今後の取組】 イノシシ・シカは、捕獲及び侵入防止が一定の成果を上げていると考え、今後も継続し対策を行う。 鳥類は、カラスによるブドウ被害の軽減のため、R4年度から軽量ワイヤーを用いた侵入防止柵の整備を実施する等、効果的な対策の普及を図る。	-								
			イノシシ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m,L=203m	農事組合法人サンファームおなし	R2.12.28	100%																			
	竹原市小梨地区	R2	イノシシ・シカ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=2m,L=990m	大出水利組合	R3.3.22	100%																			
			イノシシ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=2m,L=340m	農事組合法人サンファームおなし	R4.2.25	100%																			
	竹原市東野地区	R3	イノシシ・シカ	侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=2m,L=1,040m	高崎町深川地区	R4.3.22	100%																			
	イノシシ		侵入防止柵の設置(ワイヤーメッシュ柵)	H=2m,L=1,040m	高崎町深川地区	R4.3.22	100%																				
広島県	広島県全域	令和3年度	イノシシ シカ カワウ等	広域捕獲活動 人材育成活動	カワウ一斉対策・被害状況調査・連携強化 集落実態調査 人材育成研修 実施隊員等育成	広島県	-	100%	カワウについては総合的な対策に向けて被害状況の把握と関係機関の連携強化が進んだ。県内20市町が参加した集落実態調査により、集落等の被害状況の把握を行い、被害対策の成功事例や課題のある集落の抽出ができた。 人材育成研修の実施により市町等における指導者の育成が進んだ。 被害防除、捕獲等の対策を指導する新たな人材の育成が進んだ。	-	-	-	-	-	-	-	カワウについての被害状況の把握や一斉対策の取組連携など、カワウ被害防除のための総合的な対策の継続的な取組が期待される。 また集落実態調査の結果を活用しながら、人材育成研修で育成された育成された人材が現地で活動することにより、効率的かつ効果的な被害対策を実施できるものと考ええる。	-									

5 第三者の意見

事業実施主体名 (協議会名)	コメント
竹原市有害鳥獣駆除対策協議会	【広島県西部農業技術指導所 参事 中川一生】 竹原市の評価報告として妥当なものと思われる。 表記のとおり、被害金額は被害防止計画に対して未達成となったが、被害面積は達成している。事業効果を見ると、捕獲機器の導入により一定の捕獲実績が挙げられているとともに、侵入防止柵の設置地区では被害を防いでいる。 イノシシ・シカに対しては、継続した対策を行うことでよいと思われる。地域において対策を広めるためにも、柵の設置地区で現地研修を開催し、農業者の相互交流を促し、成功事例を波及させて欲しい。 また、鳥類については被害額全体の7割に達しており、対策が急がれている。カラス対策として、令和2年度にテグスを用いた侵入防止の実証展示を行い、令和4年度には軽量ワイヤーを用いた対策を講じることになっており、今後の普及に向けて関係機関と生産組織が一体となった取組を支援したい。
広島県	【農研機構畜産研究部門動物行動管理研究領域動物行動管理グループ 上級研究員 上田弘則】 市町等が行う、集落ぐるみでの環境改善、侵入防止、加害個体の捕獲の一体的な取組を支援するため、必要な各種対策や人材育成、育成した人材のスキルアップが行われている。 また、集落実態調査により被害状況の把握も行っており、効率的かつ効果的な被害対策の推進に資するものと考えられる。鳥獣被害の軽減に向けて、今後も継続した取組を推進しながら、市町の支援体制の充実を図っていくことが必要ではないかと考えられる。

被害防止計画の達成率一覧表

指標		被害金額				被害面積			
市町名	鳥獣種	基準年値(H29)	目標値(R3)	実績値(R3)	達成率	基準年値(H29)	目標値(R3)	実績値(R3)	達成率
竹原市	イノシシ	479.0 万円	335.0 万円	300.0 万円	124 %	4.2 ha	2.9 ha	2.3 ha	146 %
	シカ	75.0 万円	53.0 万円	107.0 万円	-145 %	0.4 ha	0.3 ha	0.7 ha	-300 %
	サル	- 万円	- 万円	- 万円	#VALUE! %	- ha	- ha	- ha	#VALUE! %
	小動物	282.0 万円	197.0 万円	115.0 万円	196 %	0.1 ha	0.4 ha	0.2 ha	41 %
	鳥類	912.0 万円	638.0 万円	1,365.0 万円	-165 %	0.1 ha	0.8 ha	1.3 ha	168 %
	カワウ	- 万円	- 万円	- 万円	#VALUE! %	- ha	- ha	0.0 ha	#VALUE! %
	合計	1,748.0 万円	1,223.0 万円	1,887.0 万円	-26 %	4.7 ha	4.4 ha	4.5 ha	69 %

注) 達成率(%) = (基準年値 - 実績値) / (基準年値 - 目標値) * 100

①合計値による算出 ②事業対象獣種による算出

被害金額	被害面積
-26.5	68.7

R1		R2		R3		被害金額	被害面積
推進	整備	推進	整備	推進	整備		
○	○	○	○	○	○		
	○		○		○		
○		○		○			
						125.1	137.7

※推進には緊急捕獲も含む

広島県で達成を判断する基準として、事業対象獣種の被害金額又は面積の達成率のうちいずれかが70%を達成していれば、計画を達成しているものと判断する。

③面積達成率と金額達成率を単純平均

被害金額
21.1